

鹿ノ台川柳教室 二月度句会

二月十七日(月) 鹿ノ台西集会所

席題「塩」

森里えいじ選

塩風が露天風呂だと富士見上げ 宏 樹  
 塩分を医者から言われ家で妻 哲 子  
 塩加減合わずに夫婦離婚する 幸 男  
 塩入れて甘さ引き立つおぜんざい アキラ  
 ライバルに負け塩しみて後日期す よし尚  
 海水のしょっぱさ魚の涙かも 良 一  
 玉子焼き甘い好きか塩味か 春 代  
 ソルトレーク体が浮いて天国に 充  
 塩漬けにした株券カビはえる 乃り子  
 塩効かしタベのケンカ敵打つ 登 美  
 あんこに塩納豆には砂糖とぞ 千 楽  
 打開策切り口少し塩をぬる よう子  
 ⑤絶妙な塩梅爺の一夜漬け 広 子  
 軸手間かけて作ってみたが味が無い えいじ

宿題「風呂」(連記)

笹倉良一選

注意書き混浴可能足湯のみ 幸 男  
 入りたいいつか自前の酒風呂に 充  
 ふやけた指折って数える五七五 英 二  
 手足伸ばし今日ふり返る至福時 乃り子  
 朝風呂で庄助気取る定年後 よし尚  
 富士見上げ露天風呂だと盛り上がる 宏 樹  
 泣いて風呂トイレでも泣き花粉症 正 清  
 効能は何年かかる美人の湯 登 美  
 夏は行水冬もらい風呂の日々 千 楽  
 ヒノキ風呂とヒノキオールのアレルギー ちさと  
 大浴場一泊なのに二度三度 春 代  
 フルムーンさばさばと家族風呂 義 雄  
 大寒の一番風呂を譲りあう えいじ  
 枯れたような顔して入る混浴湯 アキラ  
 今日の幸を入浴剤に仕舞風呂 広 子  
 砂風呂にマグマの機嫌聞いてみる よう子  
 ⑥今日の日を湯舟に流し明日勝負 哲 子  
 軸風呂メシ寝る昭和の父は強かった 良 一

宿題「ふるえる」(互選)

②暖冬に慣れた身体に來た寒波

アキラ

あの父が今の自分に震えてる  
わが足は貧乏ゆすりまだ元気

哲子 充

③色あせて思想のあやがふるえる

正 清

おっとっと受ける盃震えてる

広 子

面接の問いに答えが出てこない

良 一

④笑った泣いた太鼓腹インタビュ―

千 楽

半年後ジャパン震える金メダル

乃り子

⑤ふるえる指で数えてみたい二千万

義 雄

ウイルスにふるえる地球みえぬ果て

幸 男

ふるえる声どこか怪しい受け答え

英 二

非常時が日常となり生きている

登 美

⑥すれ違つただそれだけにゆれる胸

よう子

⑦実印を持つ手ふるえる借用書

英 二

⑧名指揮者ホールふるわせ時止める

哲 子

⑨見物の方がふるえる寒げいこ

アキラ

宿題 自由吟 (共選)

岩崎よし尚選

夢うつつ五七五と指を折る 哲 子  
 右の手のいたずら左手が叱る 良 一  
 プライドと自信は多分反比例 広 子  
 向かい風回れ右して追い風に 英 二  
 良いことがあつて仏飯でんこもり 広 子  
 人も診るドクターいれば診てほしい 千 楽  
 ダイエット大福五個のバツゲーム ちさと  
 カサカサの心うるおす美容液 よう子  
 喪中ハガキ処理に手間どる親密度 えいじ  
 自分史のラスト自分で書くつもり 義 雄  
 皮算用どんどん増える金メダル アキラ  
 ⑩悲しみも小休止して遺産分け 登 美  
 軸耳とうく阿吽の呼吸老夫婦 よし尚

宿題 自由吟 (共選)

八木哲子選

悲しみも小休止して遺産分け 登 美  
 ぶつぶつとカニが泡吹き命乞う 乃り子  
 視野がやせ欲が太つてひと眠り 正 清  
 喪中ハガキ処理に手間どる親密度 えいじ  
 作文にはなまる生えて空をとぶ ちさと  
 四角四面の場をユーモアで溶かす 千 楽  
 皮算用どんどん増える金メダル アキラ  
 酔うほどに紳士のメッキハガレ落ち 登 美  
 良薬もモラルも甘くなるばかり 良 一  
 神様が振つたサイコロ1ばかり 英 二

良いことがあつて仏飯てんこもり  
④国会に舌抜く鬼の手が足りず  
軸夢うつつ五七五と指を折る

広子  
義雄  
哲子

二月五日 題「人間」  
人間を絶滅危惧と近未来  
人と人の間に出来る深い溝  
人間に疲れペットに癒される  
二月十二日 題「なぜ」

よう子  
春代  
アキラ

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(一月二十日〜二月十六日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

一月二十二日 題「聞く」

口喧嘩して子の本音やつと聞け

アキラ

二月五日 題「本気」

言葉より後ろ姿に出る本気

英二

奈良新聞 自由吟

二月十三日 松本柁子選

一年を十年分に生きて春

正清

悩み事ない日一合丁度良い

アキラ

色褪せた文庫本だけ捨てられぬ

よう子

デパートの物産展で旅気分

幸男

毎日新聞 山田順啓選

一月二十三日 題「人気」

晩学にひっぱりだこの電子辞書

よう子

売り切れと言えば買いたくなる心理

乃り子

一月三十日 題「留守」

留守宅の気になる施錠火の始末

アキラ

二月十三日 題「新聞」

机いっぱい新聞広げ読む至福

アキラ

次回 八周年記念句会兼懇親会

三月十一日十二時 中央公園北側入口付近集合

宿題は「アメリカ」、「さぼる」、「まるい」「自由吟」

\*「アメリカ」 千楽選

\*「さぼる」 広子選

\*「まるい」 哲子選

\*「自由吟」(共選) ミノル選 よう子選

各二句 事前投句二月二十九日締め 当日披露

読売新聞 阪本高士選

一月二十六日 題「屋根」

どこまでも世界の屋根につづく空

正清

二月十六日 題「切る」

木刀になる木を切つて森をでる

正清

奈良新聞 居谷真理子選

一月二十二日 題「強い」

強そうな父とホンマに強い母

英二

強い私弱いわたしのせめぎあい

よう子

生きざまは凸凹道をまっしぐら

正清

知りましたエゴの強さを総理殿

幸男

一強と自負し失う自制心

アキラ

握りしめた手を離さずに共白髪

春代

一月二十九日 題「トホホ」

力作の自分史誰も読みはせん

アキラ

エルメスにカレーうどんの汁が飛び

英二

ゆるやかにのぼりがくんの乱高下

正清

腹の中全て読んでる妻という

よう子

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導  
を得て、日頃の生活を、喜怒哀楽を、五七五に  
句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一カ月百円

問合せ 原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)